

「米子八幡神社の建築を見る」

講演資料

平成 26 年 4 月 13 日

於：春祭 七十五膳の神事

千葉工業大学工学部建築都市環境学科

准教授 藤木竜也



本殿

天保13(1842)年建立



拝殿

寛政11(1799)年建立
大正15(1925)年改修



神楽所

昭和40(1965)年建立



社務所

昭和40(1965)年頃



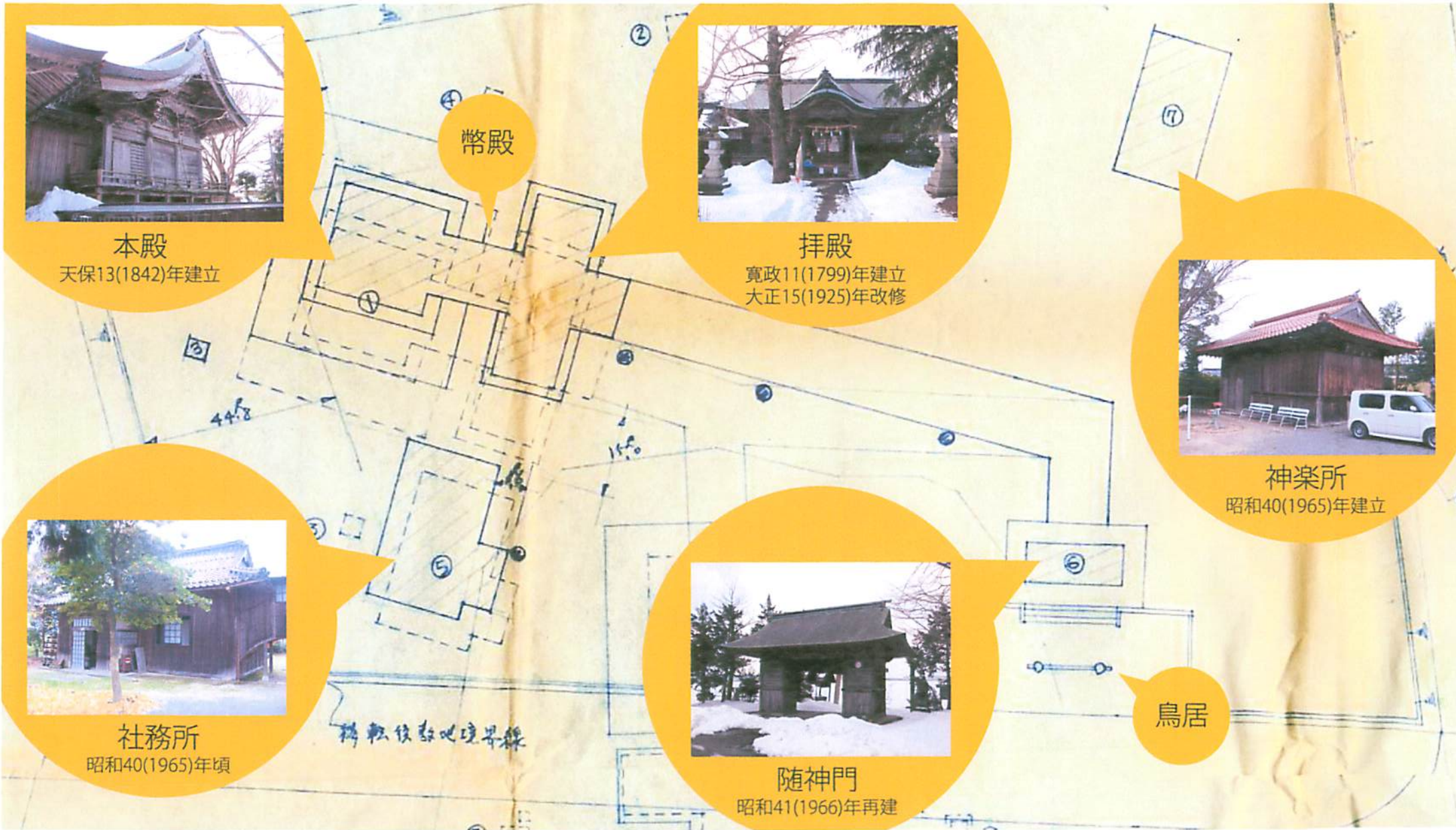
随神門

昭和41(1966)年再建

鳥居

幣殿

松尾校敷地境界線





拝殿正面外観(現状)



拝殿向拝破風彫刻



拝殿中備墓股(前拝殿の旧材)



拝殿正面外観(大正12年古写真)



拝殿床下持送り



拝殿向拝木鼻(富次精斎晩年の作)

本殿の規模・形式は
3間社流造

箱棟 (はこむね)

鳥衾 (とぶすま)

野地板 (のじいた)

棟木 (むなぎ)

懸魚 (げぎよ) (猪目懸魚)

破風板 (はふいた)

大瓶束 (たいへいづか)

笄形 (おいがた)

母屋 (もや)

大斗 (だいと)

肘木 (ひじき)

地垂木 (じだるき)

虹梁 (こうりょう)

蛇腹支輪 (じゃばらしりん)

墓股 (かえるまた)

中備 (なかぞなえ)

飛檐垂木 (ひえんだるき)

頭貫 (かしらぬき)

長押 (ながし)

組物 (くみもの) (出組組物)

木鼻 (きばな)

